

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2026 年WA規則・競技会における広告及び展示物に関する規程を適用し、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により行う。

2. 競技場の受付および入場について

- ①開門時刻は両日とも7時30分とする。
- ②GP種目競技者受付は、前日からヤンマースタジアム長居のマラソングート内TICで行う。
- ③小学・中学・高校競技者の受付は、TIC近くの受付テントで行う。(当日7:30～)
- ④ヤンマースタジアム長居の入場は正面玄関とマラソングート、ヤンマーフィールド長居の入退場はマラソングートのみとする。入場・移動の際は、発行されたADカードを携行すること。原則として、ADカードは競技者用とは別に監督コーチ用として1枚を配付する。

3. 更衣について

- ①グランプリ種目出場競技者の更衣用としてヤンマースタジアム長居に更衣室を用意する。
- ②小学・中学・高校種目の出場競技者はヤンマーフィールド長居の更衣室を利用すること。
- ③更衣室は更衣のみに使用し、待機場所として利用しないこと。

4. 練習について

- ①ヤンマーフィールド長居をウォーミングアップ場として利用できるが、芝生内は立ち入りを禁止とする。また、ヤンマースタジアム長居バックスタンド下の室内練習場使用は、グランプリ種目参加競技者のみとする。(使用可能時間 7:30～17:00)
室内練習場への出入りは第2ゲートから行い、招集場所へ向かう場合、ゲートを出て移動すること。
- ②跳躍・投てき種目の練習は各種目とも競技開始前に競技役員の指示により競技場所で行うこと。
- ③早朝のヤンマースタジアム長居での練習は、7時30分から競技開始30分前までとする。
但し、グランプリ種目出場競技者に限る。
- ④大会前の練習は、以下の通りとする。但し、使用はグランプリ種目出場者に限る。
 - 5/7(木) 金岡公園陸上競技場 9:00～12:00 ※棒高跳・投てき練習は不可
 - 5/8(金) 金岡公園陸上競技場 13:00～17:00 ※棒高跳・投てき練習は不可
 - 5/9(土) ヤンマースタジアム長居 13:00～16:00 ※投てき練習は不可
 - ▷芝生の立ち入りは一切禁止する。
 - ▷入退場はマラソングート・正面玄関のみとする。
(TIC場所：スタジアムマラソングート横)
 - ▷投てき練習はヤンマーフィールド長居で16:00～17:00間のみ可能とする。

5. 招集について

- ①招集所はヤンマースタジアム長居マラソングート内に設置する。
- ②アスリートビブスは配付されたものを使用すること。
- ③招集開始時刻及び招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、以下のとおりとするが競技日程にも記載している。

招集時間	トラック競技	走幅跳	棒高跳	円盤投
開始時刻	30分前	50分前	70分前	60分前
完了時刻	20分前	40分前	60分前	50分前

- ④招集完了時刻に遅れた競技者は、欠場するものとして処理する。
- ⑤競技者は、招集所にてアスリートビブス、競技用靴のスパイクピンや競技場内で着用するウェアほか持込みバック類の商標のチェックを受け、招集完了時刻に競技役員の指示により移動する。

- ⑥携帯電話等、競技規則 TR6.3.2 に関わる機器を持ち込んでいないか確認を受ける。
- ⑦代理は認めない。
- ⑧欠場する競技者は、招集完了時刻 30 分前までに所定の「欠場届」を競技者係に提出すること。
ただし、予選から決勝へ進出する競技者が欠場する場合は、招集完了 90 分前までに「欠場届」を競技者係へ提出すること。
- ⑨決勝進出者が欠場する場合は、次にランクされた競技者を補充して競技を行う。
その場合の連絡は、エントリー時に登録された携帯電話を使用する。

6. 競技について

- ①競技用靴については TR5.2 および競技用靴に関する規程を適用する。スパイクピンの本数は 11 本以内とし、スパイクピンの長さは、9mm 以下とする。ただし、小学生は対象外とする。
- ②GP 棒高跳のバーの上げ方（1 位決定のバーの上げ下げは 5cm）は以下のとおりとする。
なお、練習の高さは現地で決定する。
男子
5 m 0 0 - 5 m 1 0 - 5 m 2 0 - 5 m 3 0 - 5 m 4 0 - 5 m 5 0 - 5 m 6 0 - 以後 5cm ずつ
女子
3 m 8 0 - 3 m 9 0 - 4 m 0 0 - 4 m 1 0 - 4 m 2 0 - 4 m 2 5 - 以後 5 cm ずつ
- ③GP のフィールド競技では、コーチングエリアとは別に TR6.4.5（録画再生機器の利用）を可能とするため、スタンドから受け渡しのできる場所を設ける。
- ④中学・高校の走幅跳・投てき競技は、全ての競技者 3 回の試技の後、上位 8 名にはさらに 2 回の試技が与えられる。（出場競技者が 8 名以下の場合は、全ての競技者に 5 回の試技が与えられる。）
- ⑤グランプリ種目のトラック競技では、スタート前に脱衣した競技者の衣類を PECR へ運搬する。

7. リレーオーダーの提出について

- ①小学のリレーのオーダー用紙は、受付時に T I C に提出すること。
- ②中学・高校のリレーのオーダー用紙は、招集完了時刻の 1 時間前までにマラソングート内の招集所へ提出すること。なお、提出後のオーダー変更は認められず、医務員の判断による変更可能の場合でも編成（走順）の変更は認められない。

8. 抗議について

競技の結果発表は大型スクリーン及びアナウンスにて行う。競技の結果または競技についての抗議は、T I C で受け付ける。但し、GP 種目は WA 規則 TR 8 の国際規程に基づき対応する。

9. 表彰について

- ①グランプリ種目 3 位までの競技者には賞金を贈呈する。110 mH・100 mH の優勝者にはトロフィーを授与する。
- ②対象となる競技者は、上下トレーニングウェア（もしくは T シャツ、ズボン）を着用して表彰を受けること。なお、ビブはユニフォームからトレーニングウェアに付け替えること。（胸部のみ）
- ③小学・中学・高校種目は、1 位～3 位に賞状を授与する。（受け渡しは T I C で行う。）

10. 個人情報の取扱い

- ①主催者及び共催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記者発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- ②本大会はテレビ放送及びインターネットで動画配信を行う。
- ③大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者、共催者及び主催者、共催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

11. ドーピングコントロール

- ①本競技会は、ワールドアスレティックス(WA) アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(あるいは両方)の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること(競技/運動終了から2時間の安静後に採血が行われることもあるので留意すること)。また、上記の規則および規程の詳細内容およびドーピング検査については日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイトにて事前に確認すること。
- ②競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートのコピーなどを持参すること。
- ③本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。18歳未満の競技者については、本競技会へのエントリーにより、親権者の同意を得たものとみなす。したがって、本競技会参加者はドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかつた場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ④上記③にかかわらず本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者が署名した同意書を大会に持参すること。
親権者の同意書フォームは、JADAのウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできる。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名した当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出すること。ドーピング検査実施時に親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング検査手続に一切影響がないものとする。
- ⑤本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト (https://www.realchampion.jp/who/national_outline/jaaf.html?utm_source=JAAF&utm_medium=youkou&utm_campaign=202409JAAF) などを利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。
- ⑥TUE申請について 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト (<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又はJADAのウェブサイト (<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>) を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

12. 競技場内で着用する衣類と持ち込み物品について

競技会における広告および展示物規程により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴは以下の様になっている。WA広告規程を適用するグランプリ種目出場者は事前に確認し準備しておくこと。違反している場合はテープ等でマスキング処置を行う。

〔グランプリ種目/WA規程適用〕

- ①上衣 下衣〔それぞれ〕 *スポンサー名/ロゴは上下全く同一のものでなければならない。

【営利(企業)名/商品名を含む実業団等の場合】

- ・所属団体名/ロゴ、スポンサー名/ロゴ、製造会社名/ロゴをそれぞれ1つ
前面もしくは背面に40cm²(高さ5cm 長さ10cm)まで表示できる。

【営利（企業）名/商品名を含まない学校等の場合】

- ・学校団体名（非営利団体）/ロゴはそれぞれ1つ
前面もしくは背面に上衣高さ10cm 下衣高さ5cm、それぞれ長さ制限なしで表示できる。
- ・スポンサー名/ロゴはそれぞれ2つまで
前面もしくは背面に40cm²（高さ5cm 長さ10cm）まで表示できる。
- ・製造会社名/ロゴはそれぞれ1つ
前面もしくは背面に40cm²（高さ5cm 長さ10cm）まで表示できる。

②競技者が着用するあらゆるその他のアパレル

- （靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、メガネ、サングラス etc）
- ・製造会社名/ロゴは1つ 一箇所10cm²（高さ4cm）まで
※メガネおよびサングラスは、製造会社名/ロゴを二箇所掲出できる。

③タオルやバッグ

- ・製造会社名/ロゴは1つ/一箇所40cm²（高さ5cm 長さ10cm）まで表示できる。
- ・スポンサー名/ロゴ または 競技者名/競技者個人のハッシュタグは2つ/二箇所それぞれ40cm²（高さ5cm 長さ10cm）まで表示できる。

④飲料ボトル

- ・ドリンクの提供者、製造会社、アスリートスポンサー名/ロゴは2つ
それぞれ40cm²（高さ5cm）まで
※ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

13. その他

- ①応急処置その他健康上の問題が生じた場合は、本部に連絡して医務室で処置を受けることができる。
- ②大会期間中の貴重品の保管は、各自で行うこと。盗難等の被害に対し主催者はその責任を負わない。
- ③ごみはすべて持ち帰ること。